

健康里から づくりの

ケアマネージャー とは？

要介護・要支援と認定されると、介護サービスを利用することができますが、実際に利用を開始する前に、サービスの内容を具体的に盛り込んだ、介護サービス計画（ケアプラン）を作成することが必要となります。

利用者の希望や心身の状態などを考慮して、適切な在宅または施設のサービスが利用できるように、市町村・在宅サービス事業者・介護保険施設などとの連絡調整をおこない、ケアプランを作成してくれるのが介護支援専門員（ケアマネージャー）です。なお、ケアプランの作成に係る自己負担はありません。

ケアマネージャーは、サービスを利用する方が自立した日常生活を営むために必要な援助に関する専門的な知識・技術をもった方です。

ケアプランに基づいて、サービス提供が始まります。「サービスを受けたら、いくらかかるの？」との相談がありますが、サービスの種類や介護度によって費用が異なります。

ケアマネージャーをどこへ頼んでよいのかわからない場合は、地域包括支援センターへご相談下さい。

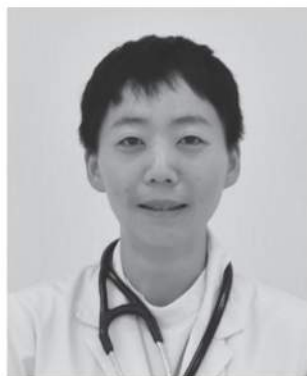
問い合わせ・申し込み
保健福祉総合センター内
地域包括支援センター
☎80-3155

医療の 窓

日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡する時代です。がんは1981年に脳卒中を抜いて死因の第1位となつて以来、増え続けています。

人間の体は細胞でできていて、細胞は分裂・増殖を絶えず繰り返しています。細胞分裂は、細胞の設計図である遺伝子をもとにコピーされることで起こります。

がんについて



国保東庄病院
柴田 わか 医師

正常な細胞は、体や周囲の状態に応じて適切な分裂・増殖を行います。遺伝子に傷がついてしまい、傷ついた遺伝子によってコピーミスが起こり、「がん細胞」が発生し、異常な分裂・増殖が起きてしまうと「がん」になります。

私たちの体には遺伝子にできた傷を修復したり、コピーミスで生まれた異常な細胞を死滅させたりする働きがありますので、遺伝子

に傷がついてもすぐにがんになるわけではありません。遺伝子に傷をつけてがんを発生させることが分かっている物質を「発がん物質」と言います。発がん物質にはいろいろありますが、皆さんに最も覚えていただきたいのはタバコです。タバコには多くの発がん物質が含まれており、喫煙は肺がんだけでなく、食道がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がんなど、多くのがんのリスクを高めます。さらに受動喫煙といって、タバコの煙は、タバコを吸わない人にも被害をもたらします。

正常な細胞でも、何度も分裂・増殖を繰り返えずと遺伝子に傷がつきやすくなつてしまいます。そして、

年をとると、遺伝子の傷を見つかったり、コピーミスで生まれた異常な細胞を死滅させたりする能力が衰えるので、がんの発症は老化とともに増えます。

しかし今や、がんは早期発見できれば治る病気です。早めのがんを見つかるためには、定期的に健康診断を受けましょう。また、がん検診の通知が届きましたら、必ず足を運びましょう。そして、食欲低下や体重減少をはじめ、何か体に異変を感じたら、病院を受診して診察を受けることもとても大事です。

問い合わせ

東庄病院 ☎1177

東庄病院の診療日
11/1~12/10

内 科	月～金曜日の午前および 第1・第3土曜日の午前
整 形 外 科	毎週火曜日の午前（予約制）

（受付時間は午前11時まで）

※救急患者については、休診日および時間外でも24時間体制で診療しますので、電話連絡のうえ来院してください。☎86-1177